

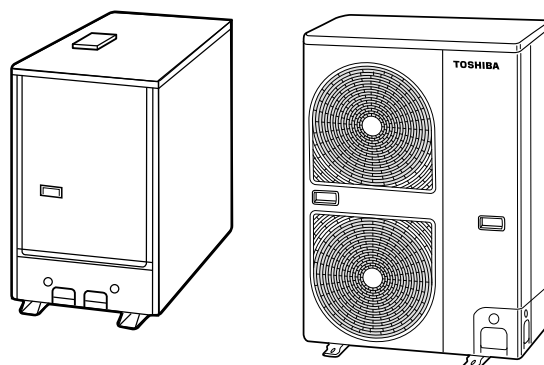
TOSHIBA

Leading Innovation >>>



E H 9 9 9 3 4 4 0 1 - 2

東芝パッケージエアコン 取扱説明書



エコ・アイス^{mini}

形名

室外機

ROP-AP1123HS-CT
ROP-AP1403HS-CT
ROP-AP1603HS-CT

蓄熱ユニット

ROP-CT53

蓄熱ユニット用リモコン

RBC-AZ1

もくじ

安全上のご注意	2
据え付けについて	4
各部のなまえとはたらき	5
リモコンのなまえとはたらき	6
正しい使いかた	8
エアコンの運転と性能について	9
お手入れのしかた	11
このようなときには	13
確認と点検	14
仕 様	15
保証とアフターサービス	16

- このたびは東芝パッケージエアコンをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
- この商品を正しく使用していただくためにお使いになる前にこの取扱説明書と室内ユニットに付属されている取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになられるかたが代わられる場合は必ず本書をお渡しください。

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

表示の説明

警告 “取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※ 1）を負うことが想定される内容”を示します。

注意 “取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※ 2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※ 3）の発生が想定される内容”を示します。

- ※ 1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
 ※ 2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
 ※ 3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止 禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

指示 指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

注意 注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

警告

！ 依頼する 据え付けは販売店または専門業者に依頼する
 据え付けには専門の知識と技術が必要です。ご自分で据え付け工事をされ、不備があると、火災・感電・けがや、水漏れなどの原因になります。

！ 依頼する 冷媒充填・回収作業については、第一種フロン類充填回収業者に依頼する
 冷媒充填・回収作業には、専門の知識と技術が必要です。不備があると冷媒ガスが漏れる原因になります。

！ アースを確認する アース工事が正しく行われているか確認する
 法律による D 種接地工事が必要です。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

！ 依頼する エアコンを移動再設置する場合は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する
 据え付けに不備があると火災・感電・けがや水漏れなどの原因になります。

禁止 指定冷媒以外は使用（冷媒補充・入替え）しない
 指定冷媒以外を使用した場合、機器の故障や破裂、けがなどの原因になります。

！ 強制 エアコンが冷えない・暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつと考えられるので、お買い上げの販売店に相談する。
 冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する
 エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れた箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。

！ 据付場所を確認する 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ設置しない
 万一ガスが漏れて室外機の周辺に溜まると、着火の原因になることがあります。

！ 漏電遮断器を切る 異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して漏電遮断器を切り、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへ連絡する
 異常のまま運転を続けると火災・感電・故障などの原因になります。

禁止 空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れない
 内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になります。

禁止 改造は絶対しない
 火災・感電・けがや水漏れなどの原因になります。

禁止 高圧洗浄機などによるエアコン洗浄は行わない
 漏電によって感電や火災の原因になります。






！ 依頼する 修理は、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへ依頼する
 修理に不備があると火災、感電の原因になります。

！ 確認する 配管工事が正しく行われているか確認する
 既設配管を使用される場合は、正しく施工しないとエアコンが故障したり、冷媒ガスが漏れたりすることがあります。正しく施工されていることを据付業者に確認してください。据え付けに関することは据付説明書をご覧ください。R410A 専用のツール、配管部材を使用してください。専用の配管部材を使用していなかったり、据え付けに不備があると破裂、けがの原因になります。

！ 強制 フロン類をみだりに大気中に放出しない
 フロン類を大気中に放出することは、法律で禁止されています。

！ 漏電遮断器を確認する 漏電遮断器が取り付けられているか確認する
 法規上、漏電遮断器の取り付けが必要です。漏電遮断器が取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

 固定方法を 確認する	基礎に固定されているか確認する 基礎に固定しないと転倒による事故の原因になる ことがあります。	 手元電源 スイッチ を切る	掃除をするときは必ず運転を停止して、手元電源 スイッチを切る 内部でファンが高速回転しておりますのでけがの 原因になることがあります。
 禁 止	室外機の上に乗ったり、物を載せたりしない 落下・転倒などによりけがの原因になることがあり ます。	 禁 止	室外機の吸い込み部やアルミフィンにさわらない けがの原因になることがあります。
 強 制	1 年に 1 度は、室外機の据付台などが傷んでいな いか点検する 傷んだ状態で放置するとユニットの落下・転倒によ りけがの原因になることがあります。		

据え付けについて

〈フロン排出抑制法による冷媒充填量確認のお願い〉

製品受け取り後、設置工事時の追加冷媒量、冷媒を充填した事業者名が記載されていることを確認してください。
(冷媒追加条件、追加量については、据付説明書をご覧ください。)

- この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。
 - この製品の工場出荷時のフロン類の数量および、その二酸化炭素換算値は「仕様」の項目に記載しています。その二酸化炭素換算値は、接続されている室外機や接続室内ユニット台数、接続配管長さにより異なります。
- システム全体でのフロン類に関する数値は、室外機に表示されています。



据付場所の選定

⚠ 注意

可燃性ガスの漏れる恐れのない場所に 設置されているか確認する

万一ガスが漏れて室外機の周辺に溜まると、
発火の原因になります。

据付場所を確認する



室外機及び蓄熱ユニットは基礎に確実に固定 されているか確認する

据え付け工事に不備があると転倒などに
よる事故の原因になることがあります。

固定方法を確認する



お願い

- 高周波を発生する機器（インバータ機器・自家発電機・医療機器・通信機器）があるところはさけてください。
(エアコンの誤動作や制御の異常やそれら機器へのノイズによる弊害が生じる恐れがあります)
- 油（機械油を含む）の飛沫や蒸気の多いところ、海岸地区など塩分の多いところ、温泉地など硫化ガスの発生するところなど、特殊な場所で使用すると故障の原因となります。
ご使用の場合は特別な保守などが必要になりますので、販売店にご相談ください。
- 液化炭酸冷却等化学プラントには使用できません。
- 強い風が室外機の吹出口に向かって吹き付ける恐れのあるところはさけてください。
(強風をさけることができない場合は別売の吹出しガイドをご使用ください。)
- ドレンが問題になるような場所ではドレン配管を施してください。詳しくはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- 降雪地区でのご使用の場合は、室外機に防雪架台、別売の防雪フードなどを取り付けてください。
詳しくはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- 電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご使用ください。
- 室外機の吹出口・吸込口の近くに障害物を置かないください。放熱が妨げられ性能が低下したり保護装置がはたらき運転ができないことがあります。
- 蓄熱ユニットは、水槽内の水を排水できる排水溝をもうけることができる場所に据え付けてください。

運転音にもご配慮を

- 運転音や振動が他へ伝わったり、増大しないよう、強度が十分な場所をお選びください。
- 室外機の吹出口の近くに障害物を置きますと運転音増大のもととなります。
- 室外機の吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。

電気配線

⚠ 警告

アース工事が正しく行われているか確認する

接地工事は法律により D 種接地工事が必要です。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アースを確認する

⚠ 注意

漏電遮断器が取り付けられているか確認する

法規上漏電遮断器の取り付けが必要です。
漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。

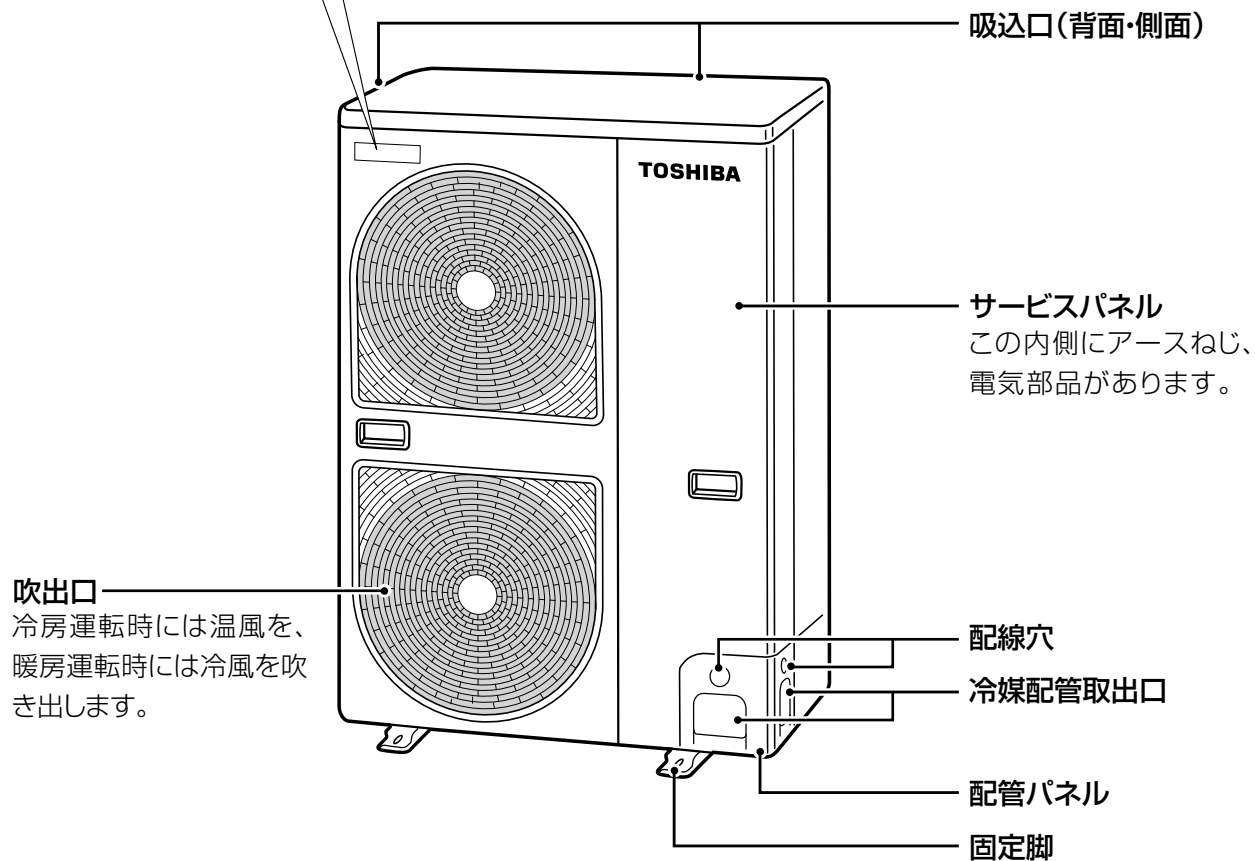


漏電遮断器を確認する

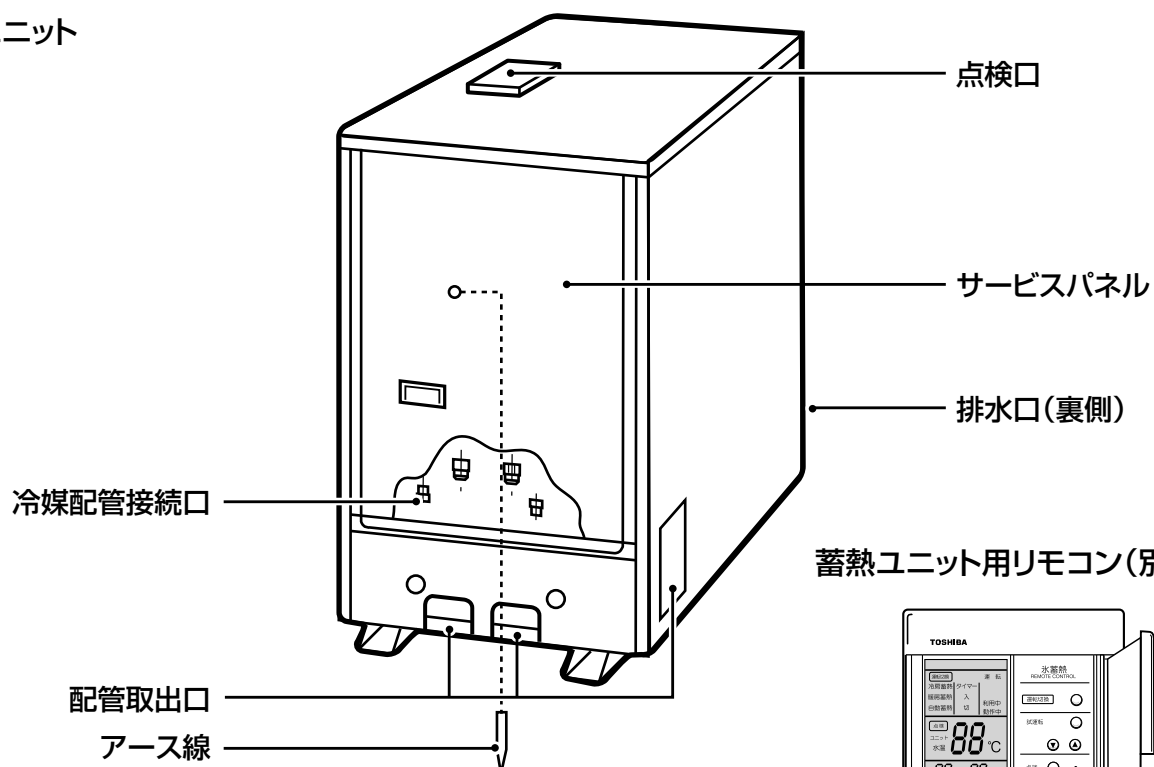
各部のなまえとはたらき

室外機

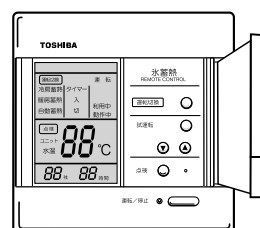
△ 注 意  けがの恐れあり 室外ユニットの吸い込み部や アルミフィンにさわらないこと	△ 警 告  けがの恐れあり 棒などを入れないこと	△ 注 意  けがの恐れあり 上に乗らないこと
--	---	---



蓄熱ユニット



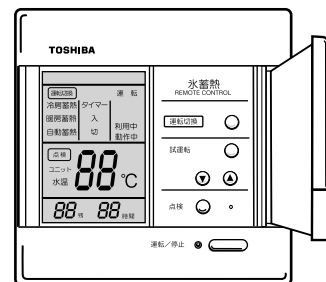
蓄熱ユニット用リモコン(別売)



リモコンスイッチのなまえとはたらき

表示部

表示例は説明のため全て表示してあります。
実際は選択した内容の表示となります。



タイマー表示

接続してご使用のタイマー運転状態を表示します。

運転切換表示

蓄熱運転モードを表示します。

点検表示

点検モード中に表示します。

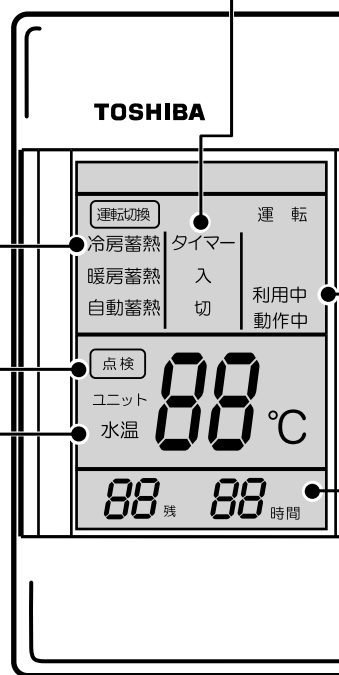
- 水温表示部に蓄熱ユニット番号、試運転時間表示部に不具合の内容を表わす点検番号を表示します。

水温表示

蓄熱ユニット水槽内の水温を表示します。

0 ~ 30℃

表示部



運転表示

運転中に表示します。

利用／動作中表示

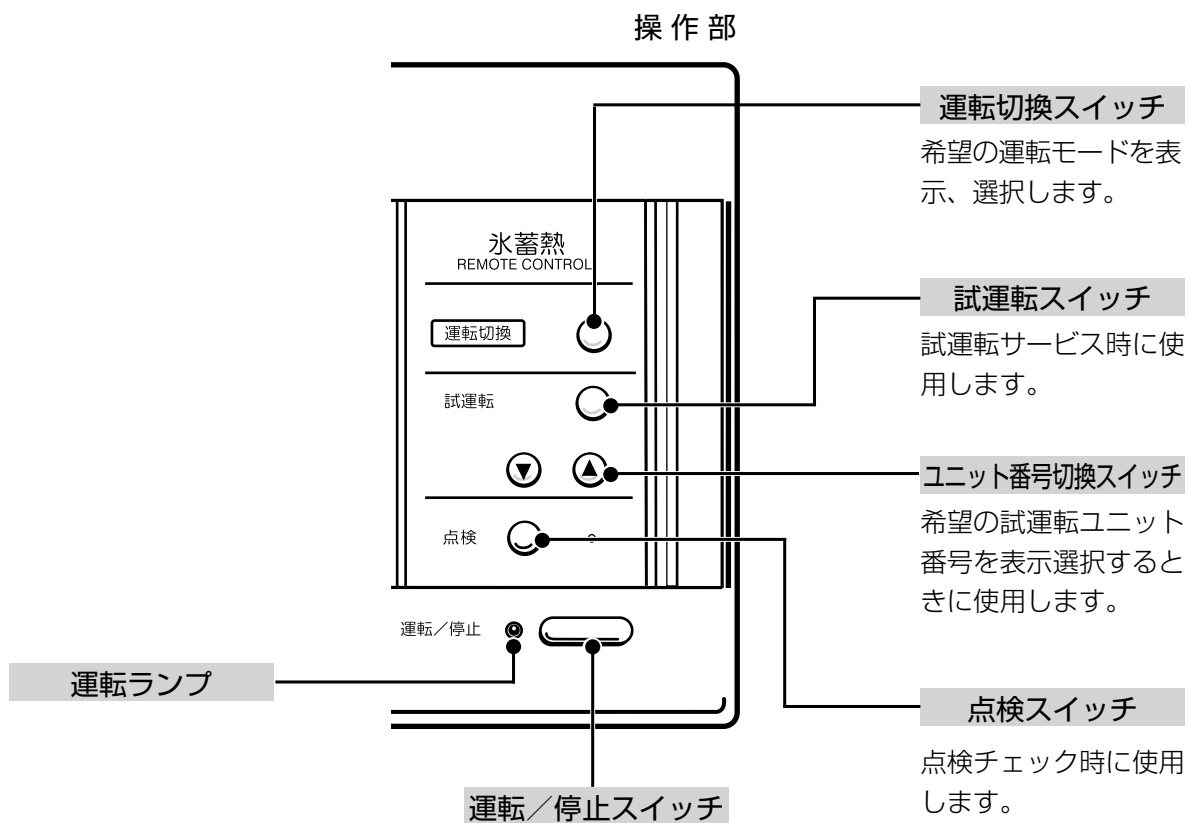
蓄熱利用中または蓄熱動作中の運転状態を表示します。

試運転時間表示

試運転時の残時間を表示します。

操作部

各スイッチを押し希望の運転を選択します。



お願い

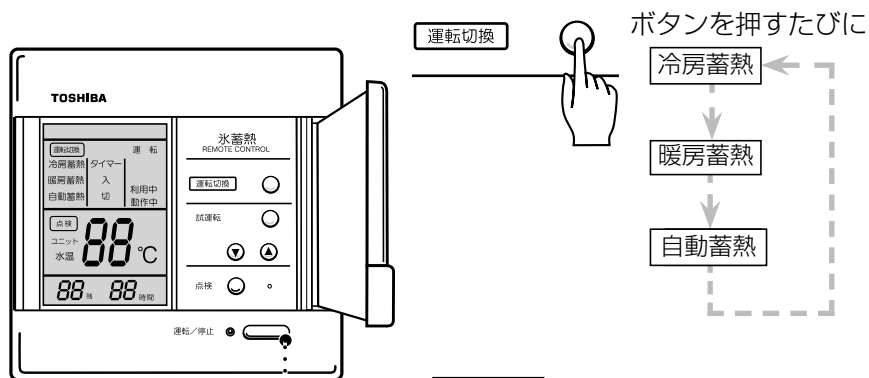
- 試運転・ユニット番号切換・点検スイッチはサービス時に使用します。通常は操作しないでください。

正しい使いかた

準備

- 漏電遮断器を入れると運転ランプ（赤）が点滅します。これは、運転を停止しているときです。前回漏電遮断器を切ったときに運転中であれば、運転ランプ（赤）が点灯し、自動的に運転を再開します。

運転切換で運転の種類を選ぶ




「自動蓄熱」は、外気温に応じて、冷房蓄熱と暖房蓄熱を自動的に選択します。通常は、「自動蓄熱」でお使いください。

- 蓄熱タイマー運転を行うために別売品のウィークリータイマー (RBC-EXW1P) や市販タイマーなどを接続し、あらかじめ冷房蓄熱（製氷）運転時間の予約を設定してください。くわしくは各タイマーに付属の説明書をご覧ください。
- 夜の 1 時から朝の 6 時まで、タイマー入になるようにタイマーを設定します。この設定された時間内に蓄熱（製氷・温水生成）運転を行います。蓄熱運転時刻の設定は電力会社との契約で決められていますので設定を変更しないでください。

運転

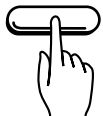
運転／停止 を押す

-  運転ランプが点灯します。

- 「運転」を表示します。
- ご使用のタイマー設定内容により「タイマー」「入」または「切」を表示します。
- しばらくしてから
タイマー入のとき
蓄熱（製氷・温水生成）運転中に「動作中」を表示します。蓄熱運転中は室内ユニットを運転しないでください。
タイマー切のとき
蓄熱利用運転中に「利用中」を表示します。「利用中」は蓄熱（夜間に作った氷または温水）を利用して冷房運転または暖房運転を行っています。

停止

運転／停止 を押す

-  運転ランプが消えます。
運転を停止すると蓄熱運転できません。シーズン中は停止させないでください。

- 運転を停止すると運転ランプと「運転」・「タイマー」・「入／切」・「利用／動作中」表示は消え、他の表示は残ります。

お願い

- 暖房シーズン中以外の場合、長期間蓄熱ユニットをご使用にならないとき、運転を停止させてください。ただし、漏電遮断器は切らないでください。
- 暖房シーズン中は蓄熱ユニットの運転を停止させないでください。停止すると水槽内の水が凍結し故障の原因となります。
- お手入れ等で漏電遮断器を切った場合は、運転を開始する 12 時間以上前に漏電遮断器を入れてください。
- 夜の 1 時から朝の 6 時まで（蓄熱運転時間）は、室内ユニットを運転しないでください。運転しても、冷房・暖房運転はできません。

エアコンの運転と性能について

3分間保護について

- 運転を停止してすぐに再開したときは、約3分間は運転しません。
これは機械を保護するためです。

暖房運転の特性

- 運転開始時すぐに風は出てきません。3～5分後（室内、室外の温度により前後します）、室内熱交換器が暖まってから温風が吹き出します。

冷房蓄熱（製氷）、暖房蓄熱運転について

- 夜間電力を利用して冷房蓄熱運転で氷を、暖房蓄熱運転で温水を生成し、温冷熱を蓄えます。
- 冷房蓄熱（製氷）運転中または暖房蓄熱運転中に冷房／暖房運転を行うことはできません。
- 冷房蓄熱（製氷）運転中または暖房蓄熱運転中は室内ユニットリモコンに「運転準備」表示が点灯します。
- 冷房蓄熱（製氷）運転は、外気温度が7℃以下になると自動的に運転を停止します。また、機器の破損を防止するために、運転を繰り延べしたり、蓄熱ユニット内の水の凍結防止運転に切り換えることがあります。
- 暖房蓄熱運転は外気温度11℃以上になると自動的に運転停止します。また、機器の破損を防止するために運転を繰り延べしたり、蓄熱ユニット内の水温上昇防止運転に切り換えることがあります。

圧縮機への冷媒寝込防止について

- 漏電遮断器を入れたときに約1時間は運転できません。これは機械を保護するためです。
（このとき室内ユニットリモコンに「運転準備」表示が点灯します。）

暖房運転中の除霜について

- 暖房運転中、室外機に霜がついた場合、暖房効果を低下させないために、自動的に除霜運転（約2～10分間）になります。
このとき室外機から水が排水されます。
- 除霜運転中は、室内ユニット、室外機の送風機は停止します。

エアコンの運転条件

エアコンを正しく使っていただくために、つぎの条件で運転してください。

冷房運転（蓄熱利用・通常共）	外気の温度	通常運転 -5℃以上 43℃以下 蓄熱利用運転 7℃以上 43℃以下
	部屋の温度	21℃以上 32℃以下
	部屋の湿度	80%以下 80%を超えた状態で長時間運転すると機械の表面に露がつき滴下したり、吹出口から霧が吹き出すことがあります。
暖房運転	外気の温度	-10℃以上 24℃以下
	部屋の温度	28℃以下
冷房蓄熱（製氷）運転	外気の温度	7℃以上 35℃以下
暖房蓄熱運転	外気の温度	-10℃以上 11℃以下

この条件以外で運転されますと保護装置がはたらき運転できないことがあります。

エアコンの運転と性能について (つづき)

保護装置（高圧スイッチ）について

エアコンに無理がかかったときに自動的に運転を停止させる装置です。保護装置が作動した場合、運転を停止し、室内ユニットリモコンの運転ランプが点滅します。

また室内ユニットリモコンに「点検」表示が点灯し、ユニット No と点検コード「P04」を点滅表示します。

次のようなときに保護装置がはたらくことがあります。

冷房運転中

- 室外機の吸込口や吹出口がふさがれているとき。
- 室外機の吹出口に、強い風が連続して吹き付けたとき。

暖房運転中

- 室内ユニットのエアフィルターにホコリやゴミが異常に多く付着しているとき。
- 室内ユニットの吹出口がふさがれているとき。

保護装置が作動した場合は、漏電遮断器を切り原因を取り除いてからもう一度運転しなおしてください。

停電について

室内ユニット・室外機

- 運転中に停電した場合はすべての運転を停止します。
- 停電後通電が再開しても、ユニットは停止したままです。
- 運転を再開するときは運転 / 停止ボタンを押しなおしてください。運転ランプが点灯します。

蓄熱ユニット

- 運転中停電した場合は運転を停止します。
- 停電後通電が再開したときは停電前の状態で復帰します。停電前に運転中であれば運転を再開し、停止中であれば停止のままとなります。

運転中に誤動作したとき

- 万一運転中にカミナリ、カー無線などにより誤動作したときは、漏電遮断器を切りもう一度入ってから運転 / 停止ボタンを押しなおしてください。

冷房運転について

蓄熱利用冷房運転

- 夜間に生成した氷を利用して冷房運転を行います。供給能力が室外機容量の約 1.2 倍になります。

通常冷房運転

- 氷を利用しない冷房運転です。供給能力は室外機容量分です。

暖房運転について

蓄熱利用暖房運転

- 夜間に蓄熱した温水を利用して除霜運転を行うことにより除霜性能が向上します。

通常暖房運転

- 除霜運転時に温水を利用しない暖房運転です。

お手入れのしかた

警告

お手入れの際は、必ず漏電遮断器を切ってください。

感電の原因になります。



漏電遮断器を切る

ユニット内部の配管類、電気部品には触れない。

内部には、保護装置、プリント板があり、これらに触ったり、設定値を変更すると重大事故の原因になります。

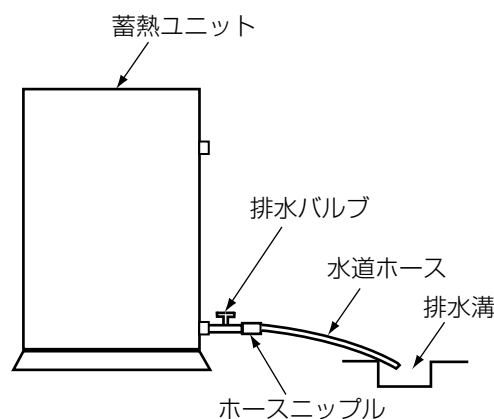


内部に触れない

排水および給水方法

排水方法

排水バルブを開き、排水溝へ排水してください。
(水槽内の水をすべて排水するのに約2時間かかります。)排水溝と排水管先端(ホースニップル)が離れている場合は右図のように市販の水道ホースを取り付けて排水してください。

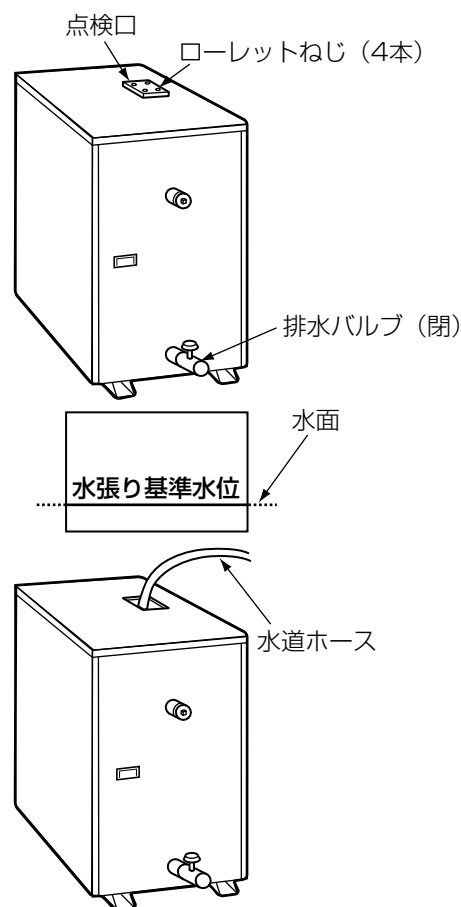


給水方法

蓄熱ユニット用リモコンに「Fb (点検コード)」が表示された場合に給水をします。

「Fb」は水量不足のお知らせで故障ではありません。給水後も「Fb」が表示される場合は他に原因が考えられるので、使用を中止してお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。

- ①ローレットねじ(4本)をはずし、点検口を開けてください。
- ②点検口から水道ホースを入れ、水面が水槽内の水張り基準水位線の位置になるまで給水してください。
- ③水面が、水張り基準水位線よりも上になってしまった場合は、上記排水方法により排水し水量を調節してください。
- ④点検口をもとどおりに閉めてください。
(ローレットねじ4本)



お願い

- 給水完了後、排水バルブ、点検口を確実に閉じてください。閉じていないと水不足による異常運転で、故障の原因になります。

お手入れのしかた（つづき）

お願い

- 給水は、市水、上水または同等以上の水質を有する水を使用してください。

凍結防止

冬期は、寒冷地だけでなく温暖な地域でも、思わぬ寒波で気温が0℃以下になることがあります。

暖房シーズン中は蓄熱ユニットの運転を停止させないでください。

（蓄熱ユニット用リモコンの運転ランプ（赤）を点灯させたままにしてください）

停止すると、水槽内の水が凍結し故障の原因になります。

停止する場合には、水槽内の水を完全に抜いてください。

定期点検

1年に1回、暖房シーズン中に水槽内の汚れおよび水量の確認をしてください。水が減っている場合には、前ページの「排水および給水方法」により給水作業を実施してください。

水の汚れがはげしい場合には、お買い上げの販売店に相談し、水の交換を依頼してください。

移設および廃棄について

転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の知識が必要ですので、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご相談してください。

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

- 廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第一種フロン類充填回収業者にフロン類の回収を依頼してください。

この時のフロン類の回収処理費用を機器廃棄者にご負担いただくことになっていますので、回収業者との間で適切な料金を取り決めてください。（第一種特定製品）

- フロン排出抑制法の回収基準を遵守して確実に回収してください。

- フロン類が回収済みであることを確認してください。

未回収の場合は第一種フロン類充填回収業者に回収を依頼してください。

簡易点検のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法により簡易点検が義務付けられています。

簡易点検は、四半期に1回以上、下記内容にそってお客様が実施されるか、または専門業者へ依頼してください。

簡易点検項目	
室外機点検	・ 機器の異常振動・異常運転 ・ 機器および機器周辺の油のにじみ ・ 機器のきずの有無、熱交換器の腐食、錆など
室内ユニット点検	・ 熱交換器の霜付きの有無



点検は、安全で容易に目視が出来る場合を除いて、危険な場合は専門業者へ依頼してください。

また、「冷えが悪くなった」「エアコンがきかなくなった」などの状況になりましたら、これらの点検を行うとともに専門業者へ問い合わせてください。

「簡易点検」に関しては、下記サイト内の検索で「簡易点検の手引き」を検索してからダウンロードして詳細を確認してください。
環境省ホームページ：<http://www.env.go.jp/>

このようなときには

修理サービスをお申しつける前に次の点をお調べください。

症 状			原 因	
故障ではありません	室外機		<ul style="list-style-type: none">● 白い霧状の冷氣や水が出る● 時々“ブシュ”という音がする● 電源投入時“カタカタカタ”という音がする● 停止中に“キーン”という音がする	<ul style="list-style-type: none">● 自動的に室外機のファンが停止し、除霜を行っているためです。● 除霜運転開始、および終了時に電磁弁が作動する音です。● 室外機が運転準備している音です。● 外気の温度が低いため室外機を予熱している音です。
	蓄熱ユニット		<ul style="list-style-type: none">● キャビネットが結露する● 時々“カチッ”という音がする● 時々“シュー”という音がする	<ul style="list-style-type: none">● 運転中にキャビネットが結露することがあります。これは製氷運転により、冷媒配管温度が下がり機内が冷やされるためです。● 電磁弁が作動する音です。● 運転中や停止直後などに、水の流れるような音がしますが、これは冷媒の流れる音です。
	室内ユニット (詳しくは室内ユニットの取扱説明書をご覧ください)		<ul style="list-style-type: none">● “ピシッ”という音がする● 吹き出す風が臭う● 室内ユニットリモコン「運転準備」表示が点灯している	<ul style="list-style-type: none">● 運転中に、エアコンから「ピシッ」という小さな音がすることがあります。これは温度変化により、熱交換器などがわずかに伸縮するため発生する音です。● 壁やじゅうたん、家具、衣類、タバコ、化粧品などの雑多な臭いがエアコンに付着するためです。● 次のようなときに点灯して運転を停止します。<ul style="list-style-type: none">・ 漏電遮断器を入れて 1 時間以内のとき・ 冷房蓄熱（製氷）または暖房蓄熱運転中のため冷房または暖房運転できないとき。
	運転しないとき			<ul style="list-style-type: none">● 停電ではありませんか。● 漏電遮断器が切れていませんか。● 保護装置が作動していませんか。 (運転ランプとリモコン表示部の点検表示が点滅している)
	よく冷えない よく暖まらないとき			<ul style="list-style-type: none">● 室外機の吸込口や吹出口をふさいでいませんか。● ドアや窓が開いていませんか。● エアフィルターにホコリやゴミがつかっていませんか。● 吹出フラップが適正な位置になっていますか。● 風速切換が「弱風」または運転切換が「送風」になっていませんか。● 設定温度が適正な温度になっていますか。● 冷房蓄熱（製氷）または暖房蓄熱運転中ではありませんか。(室内ユニットリモコンに「運転準備」表示が点灯します。)● 蓄熱ユニット用リモコンが停止していませんか。

以上のことをお調べいただき、それでもなお異常のあるときは運転を停止してから漏電遮断器を切り、お買いあげの販売店に品番と症状をご連絡ください。なおご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。また、室内ユニットリモコンの液晶表示部に「点検」表示と *L, E, F, H, L, P* のアルファベットと数字の組み合わせが表示されたときは、その内容もご連絡ください。

次の症状のときはただちに運転を中止し、漏電遮断器を切ってお買い上げの販売店にご連絡ください。

- スイッチの作動が不確実なとき
- 保護装置の作動原因 (9 ページ) を取り除いても運転できないとき
- 漏電遮断器がたびたび切れるとき
- その他いつもと違う状態のとき
- 誤まって異物や水を入れてしまったとき

確認と点検

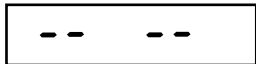
点検番号の確認

蓄熱ユニットの修理を依頼されるときは点検番号を確認してください。点検番号は故障状況を示す番号で、次の手順で確認できます。

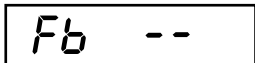
確認手順

- 蓄熱ユニット用リモコンの点検スイッチを2秒押しと、「点検」の表示が出て、下段の試運転時間表示部に点検番号が表示されます。不具合が発生している場合は、中段の水温表示部にユニット番号も表示されます。
- ユニット番号は不具合の発生している氷蓄熱ユニットの番号を示します。
- 点検番号は次のように表示します。

- 不具合が発生していない場合



- 不具合が1つ発生している場合



- 不具合が2つ発生している場合



短時間しか表示しませんので読めなかった場合は再度点検スイッチを押してください。

点検番号	点 検 箇 所
04	室外シリアル信号回路
8A	蓄熱ユニットその他箇所
89	室外機種範囲外
A4	室外外気温センサ (TO) 回路
F4	蓄熱ユニット水温センサ (TW) 回路
Fb	基準水位不足
1C	室外機系
F8	蓄熱ユニット分流通管センサ (TLH) 回路
F9	蓄熱ユニット液温度センサ (TGH) 回路
FA	蓄熱ユニット満水検出センサ (TJ) 回路
90	二方弁 (SV2) 保護
99	リモコン誤接続、グループアドレス設定

- 蓄熱ユニット用リモコンに室外機系「1C」が表示された場合は、室内ユニットリモコンの点検番号もご確認ください。室外機の細部点検箇所の点検番号が表示されています。
- 蓄熱ユニットの各点検番号は、室内ユニットリモコンでは点検番号「C15」になります。
- 室内ユニットおよび室外機の点検番号は、室内ユニットリモコンに表示します。

仕様

室外機

(50 / 60Hz)

室 外 機 形 名		ROP-AP1123HS-CT	ROP-AP1403HS-CT	ROP-AP1603HS-CT
種 類	機 能	冷暖房兼用形		
	コ ン ン ト 構 成	分離形		
	凝 縮 器 の 冷 却 方 式	空冷形		
	送 風 方 式	直接吹出形		
電 源		三相 200V		
圧 縮 機 電 動 機 定 格 出 力		1.7	2.5	3.1
性 能	定 格 冷 房 能 力 (kW)	12.5	14.0	16.0
	最 大 冷 房 能 力 (kW)	14.0	16.0	18.0
	暖 房 標 準 能 力 (kW)	11.2	14.0	16.0
	最 大 暖 房 能 力 (kW)	14.0	16.0	17.5
	暖 房 低 温 能 力 (kW)	11.2	13.3	13.9
騒 音	冷 房 (dB)	48	49	49
	暖 房 (dB)	50	51	51
総 質 量 (kg)		88		
外 形 寸 法	高 さ (mm)	1340		
	幅 (mm)	900		
	奥 行 (mm)	320		
冷 媒 (R410A) (kg)		3.00		
二酸化炭素換算値 (トン)		6.3		

- 製品は改良のため、仕様の一部が変わることがあります。
- 電気特性は製品に貼り付けてある装置銘板をご覧ください。
- 外気温が低くなると圧縮機保護のため、200V電源から圧縮機に通電され、予熱するようになっていきますので、シーズン中は漏電遮断器を入れたままご使用ください。この場合の消費電力は約 50 ～ 100W です。
- 冷房能力は蓄熱利用運転時をあらわします。
- 地球温暖化係数 (GWP) R410A : 2090

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

蓄熱ユニット

蓄熱ユニット 形 名		ROP-CT53
蓄熱量	冷房 (MJ)	140
	暖房 (MJ)	22
水 張 り 量 (kg)		440
外 形 寸 法	高 さ (mm)	1515
	幅 (mm)	980
	奥 行 (mm)	780
製 品 質 量 (kg)		140
運 転 質 量 (kg)		580

- 製品は改良のため、仕様の一部が変わることがあります。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エアコン空調換気ご相談センター

フリーダイヤル



0120-1048-00

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど **03-5326-5038** (通話料：有料)

FAX 045-461-3493 (通話料：有料)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書 (別添)

この東芝パッケージエアコンには、保証書を別途添付しております。

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この東芝パッケージエアコンの保証期間については保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後9年間です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

フロン排出抑制法に基づく点検実施のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法に基づく点検を実施してください。

“点検記録簿”には、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての履歴を記載してください。

費用等点検に関する詳細につきましては、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにお問い合わせください。

「点検記録簿」に関しては、下記サイト内にありますので、ダウンロードしてご使用ください。

日本冷凍空調設備工業連合会のホームページ：<http://www.jarac.or.jp/>

修理を依頼されるときは (出張修理になります)

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電遮断器を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。修理に際して冷媒を回収する時は、フロン排出抑制法の規程にしたがってください。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	パッケージエアコン		
形名			
お買い上げ日	年 月 日		
故障の状況	できるだけ具体的に		
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。		
お名前	電話番号	訪問希望日	

記入されておくと便利です。

お買い上げ店名

電話番号

修理料金の仕組み

技術料・部品代・出張料などから構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

東芝キヤリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地